

一茶ゆかりの里四季の俳句会（令和四年一〜三月分）

選者 高山俳壇 松本孝夫 先生

特選天 マスクして呵呵大笑の初句会 仙台市 福田良光

コロナの禍でマスクした顔を見ても誰だかわからなくなるなか、大笑いしつつ初句会が成功したことがわかる。

特選地 新調の蒲団極楽老夫婦 濱田昭

高齢になると心身が弱くなり、常時眠くなる。新調した蒲団で眠ると気分良好。まだまだ長生きできる。

特選人 春光や伐採済みし峡の道 仙田美名代

最近の木々が太り背丈も高く道を邪魔し、あちらこちらに倒木が目立つ。伐採して通りよくする事が大事である。

入選 アルプスの雪解に鍬を浸しけり 岩手県 小山尚宏

入選 朝日浴び高々昇る雲雀かな 三重県 中川徳之

入選 ぜんまいののの字の綿毛風に揺る 千葉県 安田蝸牛

入選 むかひ合ふ足跡残る雪の道 群馬県 桜井なるみ

入選 きはやかに雪爨ひかる浅間山 群馬県 篠原庄治

入選 雪の道手を付いて無事股関節 群馬県 滝沢照香

入選 就職の決まりし電話春待たず 群馬県 竹洩てる子